

対象：復学・再入学により 2006 年度カリキュラムから 2011 年度カリキュラムへ変更になった学生

## 適用カリキュラム変更に伴う変更点と特別措置について

APU では、2011 年度に大幅なカリキュラム改革を行い、2011 年 4 月～2016 年 9 月に入学した学生は「2011 年度カリキュラム」が適用されています。

通常、入学から卒業まで同じカリキュラムが適用されますが、休学・退学の期間・時期によっては、復学後・再入学後にカリキュラムが変更される場合があります。カリキュラムが変更された場合、卒業に必要な単位や履修可能な科目等の条件は新しいカリキュラムに基づくこととなります。

皆さんが復学・再入学後に適用されるカリキュラムは、復学・再入学時に同じセメスター回生となる学生と同じものになります。2018 年度秋セメスター以降に復学・再入学する場合は 2011 年度カリキュラムが適用されます。

### 1. 2011 年度カリキュラムへ変更となる学生の皆さんへ

#### ① 2011 年度カリキュラムの詳細について

2011 年度カリキュラムに関する詳細は、学部履修ハンドブックに記載されています。内容をよく確認してください。学部履修ハンドブックをお持ちでない場合は、アカデミック・オフィスホームページに掲載されている学部履修ハンドブック(PDF ファイル)を閲覧してください。

アカデミック・オフィスホームページ：<http://www.apu.ac.jp/academic/>  
ページの左上「学部履修ハンドブック」のページへ進んでください。

#### ② カリキュラム変更学生へ適用される変更点・特別措置について

2006 年度カリキュラムから 2011 年度カリキュラムへカリキュラムが変更となる学生は、本紙 2 ページ以降から変更点・特別措置の詳細を確認してください。

### 2. 卒業に必要な単位数の変更について

卒業するためには、それぞれ定められた科目分野の単位数を修得する必要があります。2011 年度カリキュラムへ変更となる場合は、変更後の必要単位数をよく確認してください。また、その他の条件や学部・科目ごとの詳細は学部履修ハンドブックを確認してください。

#### ◆日本語基準 通常学生

2006 年度カリキュラム	
分野	必要単位
英語	20 単位
共通教育科目	40 単位以上
専門教育科目	62 単位以上
自由選択	22 単位以上
合計	124 単位以上

⇒

2011 年度カリキュラム(スタンダード)	
分野	必要単位
英語	24 単位
共通教育科目	40 単位以上
専門教育科目	62 単位以上
自由選択	22 単位以上
合計	124 単位以上

日本語基準国内学生：

英語で開講される教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部)を 20 単位以上修得する必要があります。英語開講科目を履修する条件は「学部履修ハンドブック」および本紙 3 ページを確認してください。

#### ◆英語基準 通常学生

2006 年度カリキュラム	
分野	必要単位
日本語	24 単位
共通教育科目	40 単位以上
専門教育科目	62 単位以上
自由選択	22 単位以上
合計	124 単位以上

⇒

2011 年度カリキュラム	
分野	必要単位
日本語	16 単位
共通教育科目	40 単位以上
専門教育科目	62 単位以上
自由選択	22 単位以上
合計	124 単位以上

### 3. 言語教育科目の変更について

言語教育科目の名称・単位数が変更されています。復学・再入学後の開始レベルを下表より確認してください。2011 年度カリキュラムの学生へは、言語の必修科目を大学が自動登録します。クラスの変更・キャンセルは出来ません。

#### ◆英語科目

- ・ 休学・退学前の単位修得状況に関わらず、「スタンダードトラック」カリキュラムが適用されます。
- ・ 「スタンダードトラック」カリキュラムの修了レベルは「英語準上級 A・B / Upper Intermediate A・B」です。

2006 年度カリキュラム 単位修得レベル		→	2011 年度カリキュラム 履修開始レベル		要卒英語科目 (大学によるクラス指定)	
単位修得なし	0 単位		英語初級 A・B (6 単位)	初級→準中級→中級→準上級		
英語入門	4 単位	英語準中級 A・B (6 単位)	準中級→中級→準上級			
英語初級 I もしくは II	8 単位	英語中級 A・B (6 単位)	中級→準上級			
英語初級 I・II	12 単位	英語中級 A・B (6 単位)	中級→準上級			
英語中級 I もしくは II	16 単位	英語準上級 A・B (6 単位)	準上級			
英語中級 I・II	20 単位	スタンダード専修※1	—			
英語上級 I	24 単位	アドバンスト専修※1	—			
英語上級 II	28 単位		—			

※1 専修科目は必修ではありませんので、履修を希望する場合は各自で履修登録をしてください。

#### ◆日本語科目

- ・ 修了レベルは「日本語中級/Japanese Intermediate Course」です。

2006 年度カリキュラム 単位修得レベル		→	2011 年度カリキュラム 履修開始レベル		要卒日本語科目 (大学によるクラス指定)	
なし	0 単位		日本語初級 I・II・III (12 単位)	初級→中級		
日本語初級 I・II・III	12 単位	日本語中級 (4 単位)	中級			
日本語中級	16 単位	日本語中上級 (4 単位)	—			
日本語上級 I	20 単位	日本語上級 (4 単位)	—			
日本語上級 II	24 単位	専修日本語	—			

#### ◆AP 言語

AP 言語科目の前提条件は以下の通りとなります。

- ・ 日本語基準学生: 「英語初級 A・B」を単位修得すること
- ・ 英語基準学生: 「日本語初級 I・II・III」を単位修得すること

### 4. 復学・再入学学生への特別措置について

カリキュラムが変更された場合、卒業に必要な単位や履修可能な科目など、全ての条件が新しいカリキュラムに基づくこととなりますが、次の4点については、学生への負担が大きいため、2010 年度以前に入学し、カリキュラムが 2011 年度カリキュラムへ変更された学生へは適用しません。

#### ① 履修登録上限に関する特別措置

2011 年度カリキュラムより履修登録の上限が下表の通り変更されましたが、2010 年度以前に入学した学生へは適用しません。

	1 セメ	2 セメ	3 セメ	4 セメ	5 セメ	6 セメ	7 セメ	8 セメ	合計
通常学生	18	18	20	20	20	20	24	24	164
早期卒業	18	18	24	24	24	24	24	24	180
復学・再入学学生	18	18	20	20	20	20	30	30	176
早期卒業	18	18	24	24	30	30	30	30	204

#### ② GPA の算出方法・成績証明書への記載内容に関する特別措置

2011 年度カリキュラムより F 評価を通算 GPA に算入し、また F 評価を成績証明書へ記載していますが、2010 年度以前に入学した学生へは適用しません。ただし、当該セメスター GPA へはこれまで通り、F 評価を算入します。

通常学生	$\frac{【A+単位数 \times 4】+【A 単位数 \times 3】+【B 単位数 \times 2】+【C 単位数 \times 1】+【F 単位数 \times 0】}{\text{総登録単位数 (P・T 評価は除く)}}$
復学・再入学学生	$\frac{【A+単位数 \times 4】+【A 単位数 \times 3】+【B 単位数 \times 2】+【C 単位数 \times 1】}{\text{総修得単位数 (P・T 評価は除く)}}$

「通算 GPA」: 入学してから現在までの全ての成績をもとに計算した GPA  
 「当該セメスター GPA」: そのセメスターで修得した成績のみで計算した GPA

### ③ 国際経営学部 (APM) の登録必須科目に関する特別措置

2011 年度カリキュラムより国際経営学部において「経営学入門」および「ビジネス数学」が登録必須科目として設定されていますが、2010 年度以前に入学をした学生は適用しません。履修を希望する場合は、各自履修登録を行ってください。

### ④ 入学基準言語と反対の言語で開講される講義科目の履修条件に関する特別措置

2011 年度カリキュラムより入学基準言語と反対の言語で開講される講義科目の履修条件が変更され、日本語基準学生にのみ英語開講の共通教養科目・専門教育科目履修に「英語中級 A・B 修了」という条件が課せられました。2010 年度以前に入学をした学生の休学・退学前の条件が「TOEFL500 点以上相当のスコア提出」であったため、復学・再入学によりカリキュラムが変更された学生は、「英語中級 A・B 修了」または「TOEFL500 点以上相当のスコア提出」のどちらか一方の条件がそろえば履修を許可します。

#### ◆日本語基準学生が英語開講科目を履修する場合

2006 年度カリキュラム	TOEFL500 点以上相当のスコア提出
2011 年度カリキュラム (通常学生)	英語中級 A・B 修了
2011 年度カリキュラム (復学・再入学によりカリキュラムが変更になった学生)	TOEFL500 点以上相当のスコア提出 もしくは 英語中級 A・B 修了
【注意点】 2011 年度カリキュラムへ変更された学生のみ	2011 年度カリキュラムへ変更となった学生は、復学する直前のセメスターにのみ申請できません。「英語中級 A・B」は 2011 年度カリキュラムの科目です。英語科目の詳細は本紙 2 ページ「3. 言語教育科目の変更について」を確認してください。 なお、100 番台・200 番台の共通教養科目・専門教育科目の履修については、適用カリキュラム変更学生には要件はありません。

#### ◆英語基準学生が日本語開講科目を履修する場合

2006 年度カリキュラム	日本留学試験 (EJU) 日本語 240 点以上のスコア提出 または「日本語上級 II」もしくは「日本語上級 (2011 年度以降)」修了
2011 年度カリキュラム (復学・再入学によりカリキュラムが変更になった学生)	条件なし
2011 年度カリキュラム (復学・再入学生)	条件なし

## 5. 休学・退学前に修得した成績について

休学・退学以前に修得した成績は、復学・再入学後も引き継がれます。ただし、カリキュラム改革によって変更・廃止などがあった科目については、下記の通り、振替を行っています。科目の振替を行った場合も、成績評価に変更はありません。

【名称変更科目】 科目名称が変更になった場合は変更後の科目名に振り替えています。

(例)

	休学・退学前	⇒	復学・再入学後	成績証明書への反映
科目名	021007 日本の文化		020242 日本の文化と社会	科目名変更
成績評価	A		A	変更なし

【廃止科目】 科目が廃止になった場合は、各科目の分野名に読み替えています。

(例)

	休学・退学前	⇒	復学・再入学後	成績証明書への反映
科目名	01009 英語入門		016240 言語教育科目分野 (英語)	分野名に変更
成績評価	A		A	変更なし

アカデミック・オフィスホームページ「2006 年度カリキュラムのみに関わる事項はこちら」にて詳細を確認することができます。

## 6. 学部ごとの特記事項

### ① APS 学生の皆さん

自分で Campusmate より申請した学修分野に配置された科目から 20 単位以上修得した場合、学位記に当該学修分野の分野名称が記載されます。APS 学修分野についての詳細は学部履修ハンドブックを確認してください。

### ② APM 学生の皆さん

自分で Campusmate より申請した学修分野に配置された科目、コア科目、演習科目から 30 単位以上修得した場合、学位記に当該学修分野の分野名称が記載されます。APM 学修分野についての詳細は学部履修ハンドブックを確認してください。

学修分野の申請方法および申請時期等の詳細は、アカデミック・オフィスホームページの「履修」のリンクから、「学修分野(2011 年度カリキュラム)」のページを確認して下さい。学修分野の申請をしていない場合は、条件を満たしていても学位記に記載することはできませんので、ご注意ください。

■ お問い合わせ： アカデミック・オフィス(平日 10:00～16:30、火のみ 11:30～16:30)

■ 〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

■ TEL: 0977-78-1122

FAX: 0977-78-1123

E-mail: [acsubmit@apu.ac.jp](mailto:acsubmit@apu.ac.jp)

■ キャンパスターミナル:

<https://portal2.apu.ac.jp/campusp/top.do>

■ アカデミック・オフィス HP :

<http://www.apu.ac.jp/academic/>